



しづたねは、病気の子どものきょうだいさんのための  
ボランティアグループです

子どもが病気になったとき…親御さんをはじめ、周囲の大人の目は病気の子どもの集中します。それ自体は誰にも責められることはありませんが、おうちに兄弟姉妹(きょうだい)がいる場合、ひとりぼっちのきょうだいさんの心も深く傷ついているかもしれません。

毎日一緒にあそんでいたきょうだい突然病気になって不安な気持ちだったり、何が起きているのか全然わからず、病気は自分のせいなのではないかと心配したり…

誰にもかまってもらえないと感じて悲しかったり、そんな気持ちをもつ自分を責め、寂しいのをむりやり我慢したり…

誰からも見てもらえない、誰も自分を必要としていない、自分はいらぬ子なんだ、と、自分を大切にすることが弱ってしまうきょうだいさんもたくさんいます。

自分のせいできょうだいさんが病気になったかも?と悩んでいる子には、「そうじゃないよ」と寂しくて不安な子には「ひとりじゃないよ」と。ちいさなからだでがんばっているきょうだいさんたちに、「がんばってること知ってるよ、ここにいていいんだよ、あなたはたったひとりの大切な子どもなんだよ」と伝えたくて、2003年、「しづたね」はうまれました。

「しづたね」の「しづ」は、「きょうだい(sibling(シブリング))」の「しづ」。「たね」は、きょうだいさんが安心していられる場所の「たね」をいっぱい蒔いて、ふやしていこう!の「たね」です。  
たくさんの方の愛情をきょうだいさんに届けられるよう、活動を続けてきました。

10年間活動をする中で、きょうだいさんと親御さんたちがたくさんの方の事を教え、導いてくれました。一緒にあそんで「これ楽しいね!」と思う時の心のあたたかさ、いっぱい走ったあとの真っ赤なほっぺやキラキラの瞳の可愛さ、…子どもたちは私たちや親御さんの「あなたが大好き」「あなたが大切」の気持ちを上手に受け止めてくれて、私たちに大きな力をくれました。

そんな10年間を振り返り、子どもたちに教わったことをまとめ、これからきょうだいさんのために何かはじめようと思っいる方にも参考にしていただけるようなものをつくろう!と記念誌を作成しました。来てくれた子どもたちやボランティアさんには、あのみんなで笑った1日を一緒に懐かしんでいただければ幸いです。

しづたね



ごあいさつ 2  
もくじ 3

しづたね10年の歩み 4

きょうだいの日

きょうだいの日をふりかえって 第1回～第5回 6  
第6回～第10回 8  
第11回～第15回 10  
第16回～第20回 12  
シブレット10年を振り返って 14  
シブレンジャー打合せ資料 15  
おやつコレクション 16  
きょうだいの日 盛り上がったゲーム 18  
盛り上がったゲーム「親子編」 20  
盛り上がったゲーム「節約編」 22  
一時保育とおもちゃの部屋 24  
中学生からのきょうだいの日 26  
チラシずらーっと10年分 28  
「きょうだいの日」のはじめかた 30

病院活動

病院活動のこと 32  
病院活動のはじめかた 34  
こんな活動あんな活動あったらすてき 35  
ステキ活動のご紹介 その1 36  
その2 38

きょうだいさんのための本 40

10周年ありがとうの日報告 42

これからのしづたね 44

Q&Aのページ 47

おわりに 49

